

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ラベージ IV	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.514	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離

5 1/4 インチ

研磨剤

番

比較対照ボール：ラベージ III

フレアーの幅 インチ

表面加工

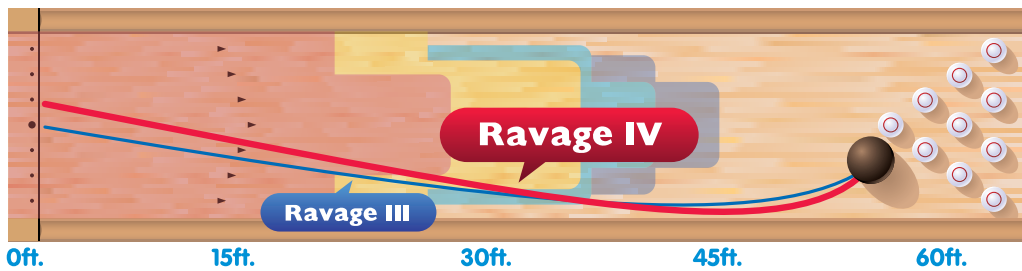
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離

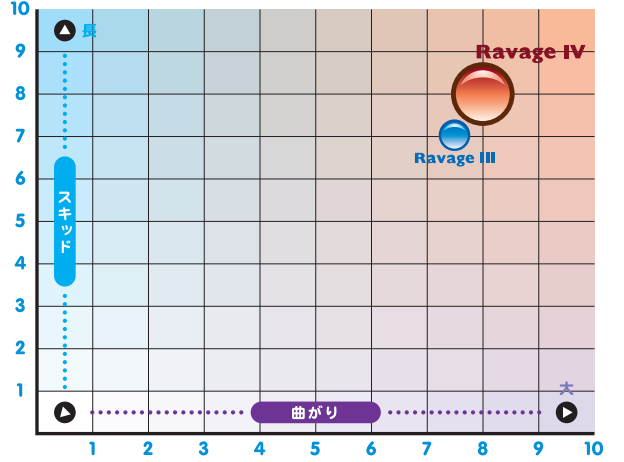
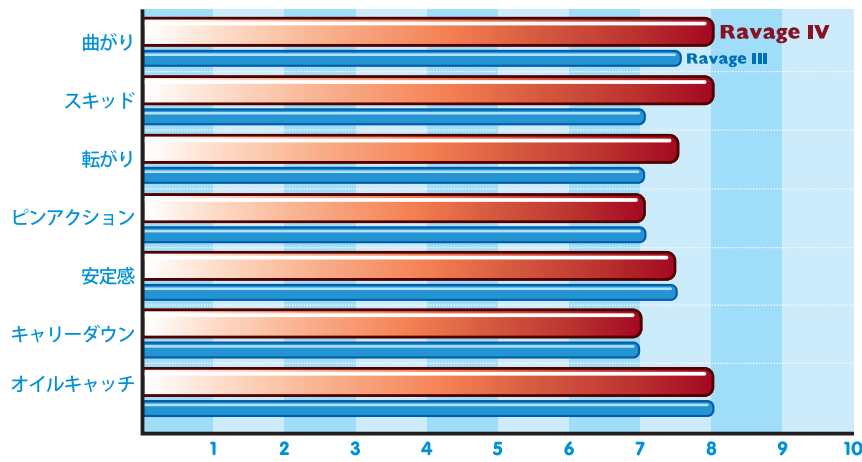
5 1/2 インチ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション	Light Oil	Light to Medium	Medium Oil	Medium to Heavy	Heavy Oil
バックエンドリアクション	Smooth	Smooth to Arc	Arc	Arc to Sharp	Sharp Angle
レンジス	Early Roll	Early to Med	Med-Lane	Med to Late	Late Roll

ボールの評価

ラベージシリーズ中、最もスキッドし最もバックエンドリアクションがシャープに過激になったボールです。このボールのリアクションはラベージのマスバイアスコアを原型に、スピニングの変更とカバーストックの組み合わせによるものと思われ、よく走り良く切れる典型的なスキッド・スナップ系の運動特性です。配色も伴い、転がり感は増しているように思われ、大きく出しても戻ってくる安心感のあるボールです。ラベージIIIでも良く走ったイメージはありましたが、それよりもさらに走り、バックエンドのリアクションがしっかりと角がでて大きいため、投球していて楽しいボールです。オイルを使った時の安定感。そしてラベージシリーズ中最大のバックエンドリアクションは投球者ならびに見る人を惹きつける魅力のあるボールと言えるでしょう。この設定なら、かなりの高回転ボウラーにもスキッド保つことができ、角の過激なリアクションを提供できるでしょう。

テスト段階でテスターの間でも満場一致で良い回答が得られたのも、このラベージIVのトータルバランスの良さを物語っています。またラベージシリーズ同様、プロボウラーもかなりの使用が予想され売り切れは必至。

待望のラベージシリーズ第4弾。オイルに強く、走って切れる。このラベージIVの過激なリアクションを是非お楽しみ下さい。

特記事項

モーリッチファン必見。テスター満場一致の自信作。走って切れるその曲がり幅はまさに圧巻です。売り切れ必至のためお早めにご購入下さい。